



▲観菩提寺本堂
(観菩提寺と大和街道島ヶ原宿区域)

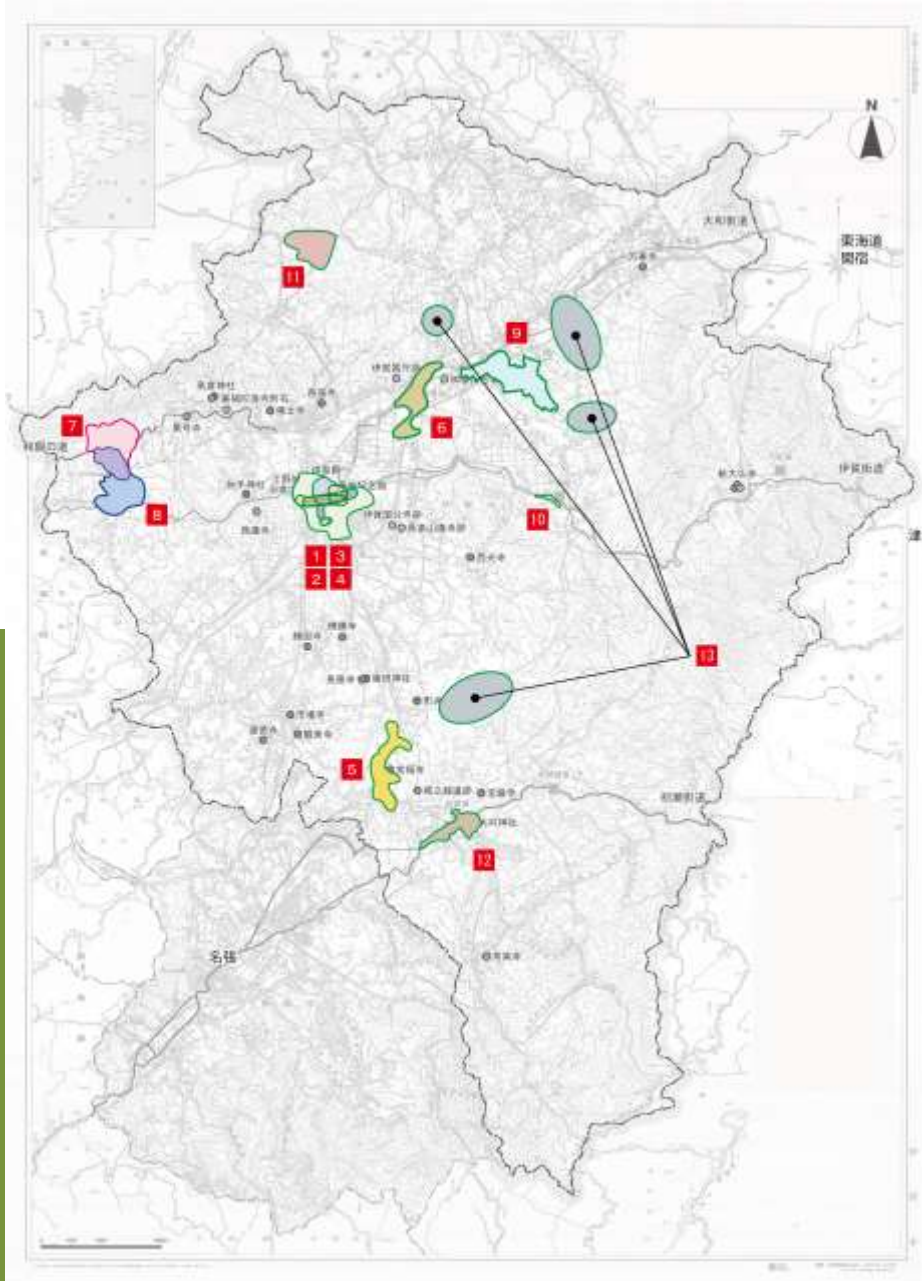
伊賀盆地の中心となる上野地区には、近世以降現代に至る中心都市としての上野城下町の歴史的まちなみと天神祭に代表される祭りや生活文化などが一体となった歴史的風致が残されています。一方、伊賀盆地の各地域においては、古代の伊賀国庁跡をはじめ、在地勢力が割拠した中世における城館群、そして伊勢参宮客で賑わった初瀬街道はじめ街道宿場町のまちなみも残るなど、古代から近世にかけての重層的な歴史的風致が地域の個性的風景を形づくっています。この、中心性と地域性及び歴史の重層性が織りなす、地域景観と人々の活動の多様性が、伊賀市の維持及び向上すべき歴史的風致の特質です。



▲大村神社宝殿
(大村神社と初瀬街道阿保宿区域)



▲俳聖殿(上野城下町区域)



伊賀市の中心・上野城下町にみる近世以降の歴史的風致

1 上野天神祭にみる歴史的風致 (上野城下町)

国指定重要無形民俗文化財「上野天神祭のダンジリ行事」が城下町の古いまちなみを舞台に練り歩き、鬼行列に泣き叫ぶ子どもの声や大人の歓声が楼車の祇園囃子と重なりあうさまが、秋の風物詩として長年伝えられてきた伊賀市を代表する歴史的風致です。



2 芭蕉顕彰と俳句文化にみる歴史的風致 (上野城下町)

伊賀に生まれ、俳句を文学として昇華させた松尾芭蕉を、伊賀市民は「芭蕉さん」と慕い、敬い、俳聖殿前における芭蕉祭をはじめ、句会として市民生活のなかに定着する顕彰活動が、我が国における俳句文化を代表するような歴史的風致となっています。



3 伊賀組紐にみる歴史的風致 (上野城下町)

仏具、神具、武具に使われた組紐は、江戸組紐の技術も加わり、明治以降も地場産業として栄え、現在もお高い全国シェアを誇っています。城下町に残る組紐店には、作業場から漏れ聴こえる紐を組む音が独特の歴史的風致として残っています。



4 城下町の和菓子店にみる歴史的風致 (上野城下町)

上野城下町では、街道の旅人をもてなす餅屋と藩主御用達の菓子屋双方が栄えました。伊賀焼の器を使った茶の湯文化は現在もお市民の嗜みとして定着しており、自分の最良のお店を持つなど、和菓子の伝統は生活文化と密着しています。



5 神戸神社と伊勢神宮とのつながりにみる歴史的風致 (神戸地区)

かつて伊勢神宮の神領であった神戸地区にある神戸神社では、伊勢神宮の式年遷宮で生じる木材を使った式年造替が行われるとともに、伊勢神宮への干鮎の献上をはじめ神事に関わる当屋の活動が現代もお受け継がれています。



6 敢國神社の獅子舞にみる歴史的風致 (府中地区佐那具宿周辺)

伊賀国一宮・敢國神社をルーツとして周辺に伝わった獅子神楽は、伊賀国一帯に大きな影響を与え、伊勢大神楽とは異なる独自の形態を持っています。敢國神社のある一宮地区では、この獅子舞の保存会をつくり口伝で現代も受け継いでいます。



7 観菩提寺の修正会にみる歴史的風致 (島ヶ原宿周辺)

島ヶ原地区で1300年前から続くといわれる修正会が行われる観菩提寺では、地域の集落住民からなる7つの頭屋が練り込む民俗行事の大餅会式と密教行事の結願法要が合わさって行われ、山あいの集落や棚田の田園空間と一体となった歴史的風致を作っています。



8 鷗宮神社の秋の例大祭にみる歴史的風致 (島ヶ原宿周辺)

山々や棚田を縫って小川が流れる風光明媚な島ヶ原地区の、冬の「修正会」となる秋の風物詩が鷗宮神社の例大祭で、田園を巡行する神輿行列や大和街道島ヶ原宿の古いまちなみを舞台に演じられる獅子神楽に特色があります。



9 春日神社長屋祭にみる歴史的風致 (いがまち地区)

壬生野集落には中世城館が数多く分布し、独特の景観が形づくられています。割拠した在地勢力は、近世に「無足人」として独自のコミュニティを形成してきましたが、春日神社の祭礼を支える長屋祭は、この歴史を現代に残すものです。



10 植木神社の祇園祭にみる歴史的風致 (大山田平田宿)

五穀豊穡を祈る植木神社の祇園祭行列は、大和街道平田宿の御旅所から宿場を縦断して植木神社まで行われます。色とりどりのほうろ花や楼車行列が奏でる太鼓、笛、鉦の音色が、街道沿いのまちなみに鳴り響きます。



11 伊賀焼にみる歴史的風致 (阿山丸柱周辺)

古琵琶湖層の良質な粘土質に恵まれた丸柱地区では、古墳時代に発祥した焼物が中世から近世にかけて発展を遂げ、現代も多く作家が創作を続けます。燃料となる薪を供給する松林のなかに点在する集落の登り窯から立ちのぼる煙が独特の歴史的風致を形成しています。



12 大村神社例大祭にみる歴史的風致 (青山阿保宿周辺)

国重要文化財の宝殿を有する大村神社は、かつて伊勢詣でで賑わった初瀬街道阿保宿を見下ろす丘の上にあります。木津川から引いた水路網や細い路地(ひやわい)が残る阿保宿を舞台に、神社の例大祭で地元有志が獅子神楽の舞の伝統を受け継いでいます。



13 かんこ踊りにみる歴史的風致 (農村部)

干ばつが絶えなかった伊賀盆地では、切実な水乞いの祈願であるかんこ踊りは重要な生活文化の一つでした。市内各地でこの伝統を絶やさないよう、世代を越えて継承されており、各地域の田園景観と一体となって地域コミュニティの拠り所となっています。



近世以前に発祥した地域性豊かな歴史的風致

11 伊賀焼にみる歴史的風致 (阿山丸柱周辺)

古琵琶湖層の良質な粘土質に恵まれた丸柱地区では、古墳時代に発祥した焼物が中世から近世にかけて発展を遂げ、現代も多く作家が創作を続けます。燃料となる薪を供給する松林のなかに点在する集落の登り窯から立ちのぼる煙が独特の歴史的風致を形成しています。



観菩提寺と大和街道島ヶ原宿区域(197.2ha)

事業概要

- 4 観菩提寺本堂・楼門防災施設等整備事業
- 6 観菩提寺楼門二天立像保存修理事業
- 24 宿場・街道案内看板等整備事業

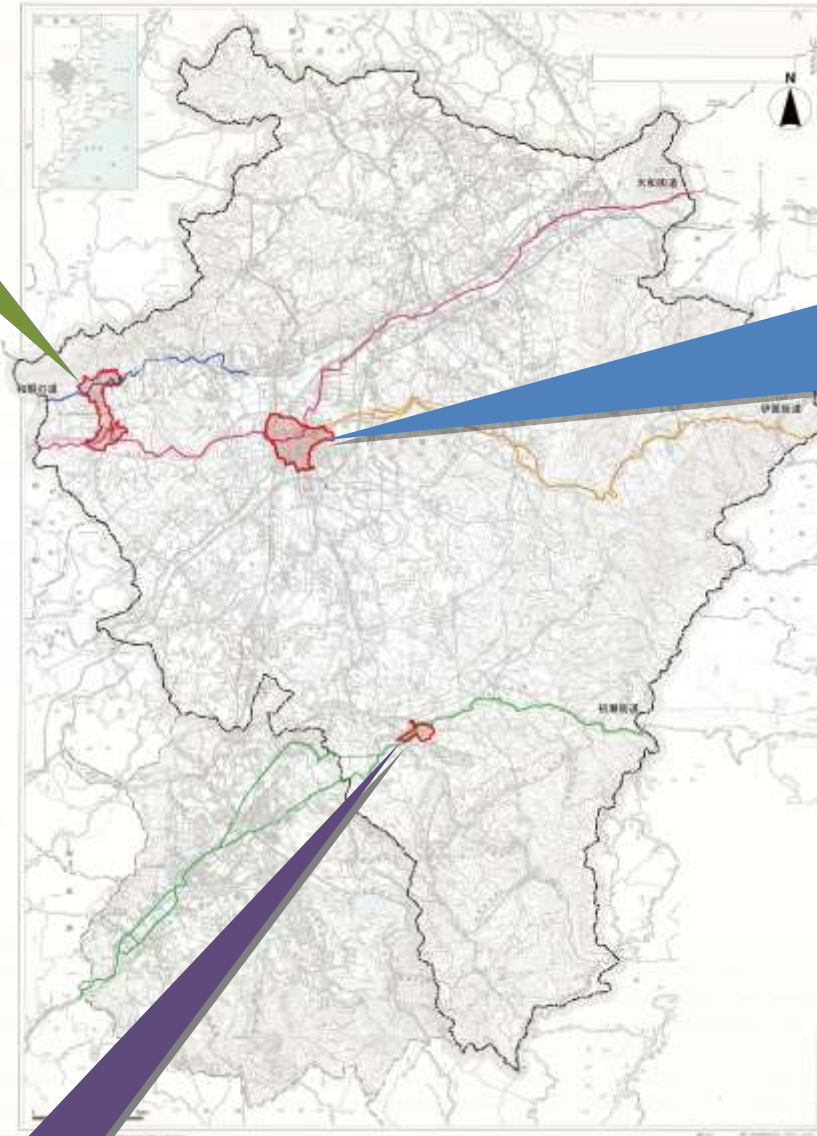
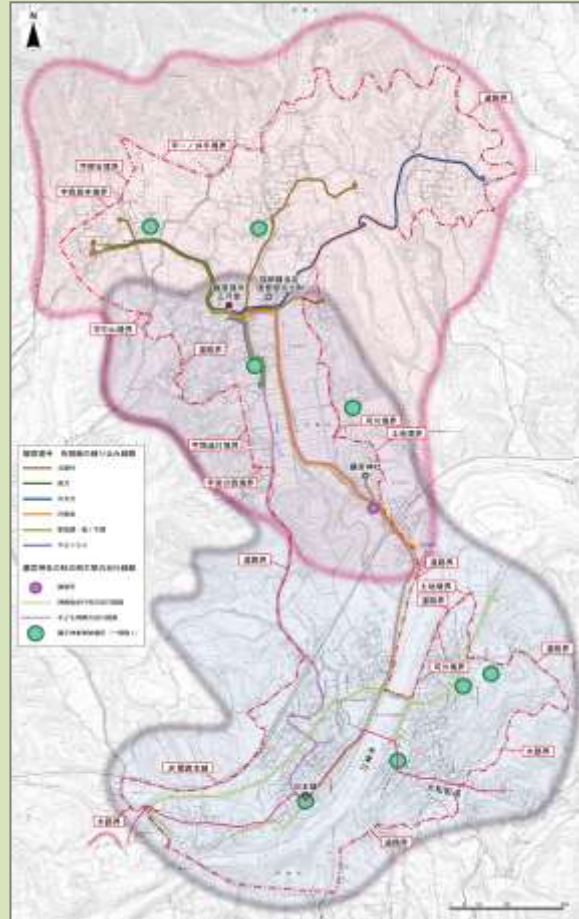
観菩提寺と
大和街道島ヶ原宿
・観菩提寺の修正会にみる
歴史的風致
・鷗宮神社の秋の例大祭に
みる歴史的風致



▲観菩提寺本堂・楼門防災施設等整備事業



▲観菩提寺楼門二天立像保存修理事業



上野城下町区域(269.9ha)

上野城下町

- ・上野天神祭にみる歴史的風致
- ・伊賀組紐にみる歴史的風致
- ・城下町の和菓子店にみる歴史的風致
- ・芭蕉顕彰と俳句文化にみる歴史的風致



▲上野天神祭のダンジリ行事
保存事業(見送幕修理)



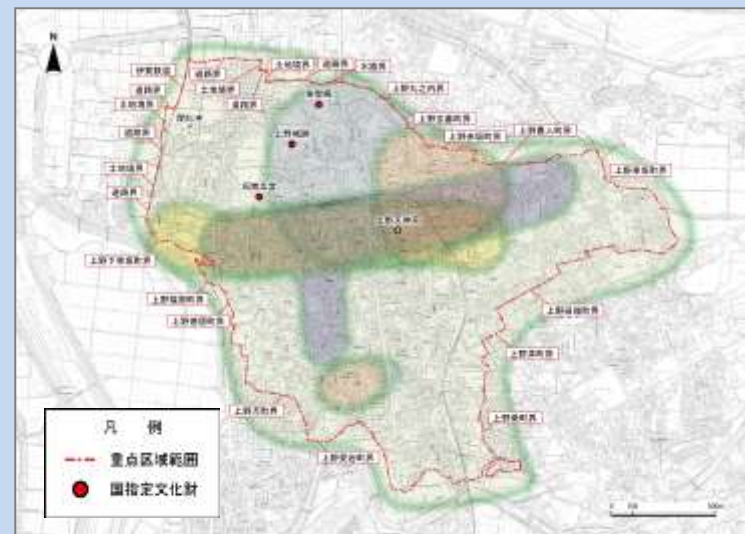
▲まち巡り拠点施設整備事業



▲修景助成事業

事業概要

- 1 史跡上野城跡保存整備事業
- 2 史跡旧崇広堂保存整備事業
- 3 俳聖殿等消防施設整備事業
- 7 史跡及び名勝蓑虫庵保存修理事業
- 8 登録有形文化財建造物美観向上事業
- 11 松生家活用事業
- 12 まち巡り拠点施設整備事業(成瀬平馬屋敷門活用事業)
- 13 修景助成事業
- 14 芭蕉翁生家施設改修整備事業
- 15 古民家等再生活用事業
- 16 ポケットパーク整備事業
- 17 道路美化事業
- 18 上野公園園路整備事業
- 19 上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等事業(保存事業)
- 20 上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等事業(活用事業)
- 24 宿場・街道案内看板等整備事業



大村神社と初瀬街道阿保宿区域(44.4ha)

大村神社と
初瀬街道阿保宿
・大村神社例大祭にみる歴
史的風致

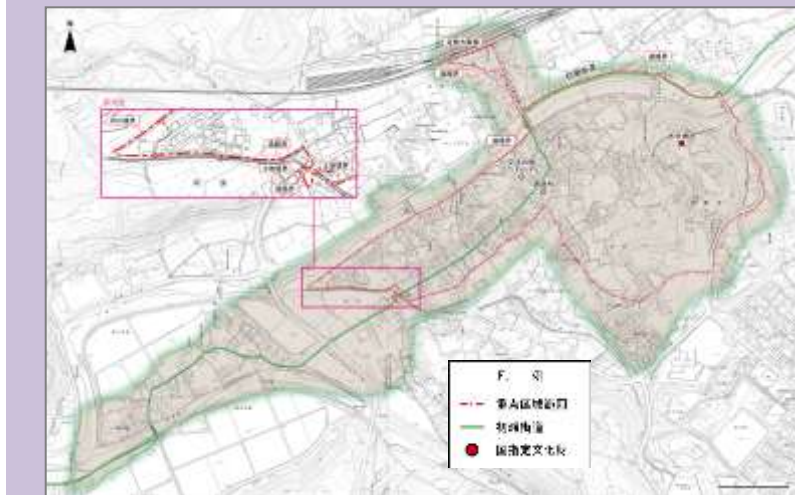


▲大村神社例大祭 伝承・活用等事

事業概要

- 21 大村神社例大祭
民俗文化財伝承
・活用等事業
- 22 初瀬街道まつり
イベント支援
事業
- 24 宿場・街道案内
看板等整備事業

初瀬街道まつり
イベント支援事



市域全域で実施する事業

事業概要

- 5 春日神社拝殿解体修理事業
- 9 ヘリテージマネージャー活
動支援事業
- 10 伊賀流空き家バンク事業
- 15 古民家等再生活用事業
- 23 文化財説明看板設置事業



▲春日神社拝殿解体修理事業